

若手林業関係者が未来の森林づくりを考える

～上川北部地域林業若者交流会を開催～

令和8年7月30日(木)、上川北部地域林業若者交流会を開催し、地域の林業に携わる若手職員や関係者が参加しました。午前は上川北部道有林管理区内359林班において、造林・保育作業の効率化・省力化を目的としたモデル林を視察し、現場での課題や取組について活発な意見交換を行いました。午後は上川北部森林室の事務所内で、道有林野事業における下刈作業の軽労化をテーマに事例紹介や職員同士で活発な意見交換を行いました。

参加した職員からは、「他機関や事業体の考え方や工夫を知ることができ、大変参考になった」「省力化技術の導入事例を学び、今後の業務改善につなげたい」といった声が聞かれました。交流会は、お互いの若手職員同士の横のつながりを深めるとともに、持続可能な森林づくりに向けた知見を共有するとともに有意義な機会となりました。



室内での意見交換会の様子



設定されたモデル林での視察の様子



機械作業を考慮した伐根処理の状況

トピックス

技能訓練を実施

令和8年7月16日(木)、振動機械(チェーンソー)使用者に対する実技指導訓練を実施しました。本訓練は、チェーンソーの安全かつ適正な操作技能を習得し、作業中の労働災害や振動障害の発生を未然に防止することを目的として行い、機械の構造や取扱方法、始動・停止手順、点検整備の要領、保護具の適切な使用方法について確認しました。

また、現場において倒木の処理作業を実施し、枝払いなどの基本作業を通じて実践的な操作技能を習得するとともに、安全作業に対する理解を深めました。



基本動作の確認を行った

空から見守る採種園～ドローンによる着果調査を実施～

7月14日(火)、和寒町に所在する塩狩採種園において、トドマツの着花(着果)状況を確認するための調査を実施しました。調査した当日は、朝日・和寒森林事務所、森林技術・支援センターの協力を得て、ドローンを用いて上空から調査を行いました。

今回の調査は、北海道育種場からの依頼を受けて実施したもので、育種種子の安定的な確保・供給を目的とした取組の一環です。北海道育種場では、国有林内に造成された採種園において毎年着花(着果)調査を実施し、その結果を種子採取計画の策定や豊凶情報の提供に活用しています。これらの情報は、将来の森林づくりに必要な優良種苗の安定供給を支える重要な基礎資料となります。

今回は、士別市と和寒町に所在する乙部採種園および塩狩採種園を対象に調査を実施し、ドローンを用いて樹冠上部の状況を効率的に確認しました。今後も関係機関と連携しながら、森林資源の持続的な利用や優良種苗の生産に向けた取組を進めてまいります。



ドローン操作を行う職員



目視とドローンで着果状況を確認



ドローンにより着果状況を確認

北海道森林管理局 Instagram も開設！



各署の取り組みを随時掲載中！みんなのいいね！してね

<上川北部森林管理署>

北海道上川郡下川町緑町21番地4

☎ 01655-4-2551

<北海道森林管理局 HP>

北の森漫画も公開中！

